



コロナにまけない！！

感染対策に気を付けてサロン活動を行っています。



窓をあけて換気しています



隣同士距離に気を付けて体操



はつらつ会

はつらつ会では月に1回サロン活動で大島先生による体操教室を行っています。コロナの話題を連日聞く中、感染対策を行い参加者は元気いっぱい体を動かしています。椅子に座ってできる肩・腕、下半身の運動手指を使った脳トレ、思うようにいかず大笑いしました。

ラダー体操



白子さんが入れるコーヒーは、コーヒーポラでスターバックスの方から教わった本格的な味!! 体操終わりに一杯を飲みながらお話もすることも楽しみです。



はつらつ会代表 白子さんが入れるコーヒー

喬木村社協ホームページ



喬木村社協のホームページではボランティアについてどんな活動をされているのか活動の様子や写真を載せています。

ボランティアに興味がある方は是非ご覧ください。

takagi-syakyo.com



貸出し用品紹介



アスボでレク用品、DVD の貸出しを行っています。

今回紹介するのは、昭和の流行歌 DVD 昭和初期～昭和64年までの流行歌が全10巻あります。

懐かしい映像と共に歌を楽しむことができます。

スクリーン・プロジェクターの貸出しもあります。設置のご協力いたしますので是非ご相談ください。

問合せ：みんなの広場アスボ

33-5520

担当：中島

わたしの八月

原 多佳子

8月13日の新聞子ども向けのページの一枚写真が、私の目をひいた。「松の木が伝える戦争」と太字で書かれた見出しの下にある大きな幹を削り取られた松の木と、そこで説明を聞く小学生たちの姿を写した写真だった。上田の山中に残る傷ついた木々があった。私は驚いた。ちょうど一週間前に、同じ傷をもつ松の木を何本も見ただけだった。上郷の野底山森林公園の中にあるウオーキングコース歩いた時である。それは一体何なのか戦時中石油不足の策として、松ヤニを採り油を作った。幹を削り、缶をくくり付けそこから垂れるヤニを集めたのだ。航空燃料にするために。こんな身近に戦争を伝える跡があったのだ。松の木は戦後7年たった今なお、傷に耐え続け戦争の愚かさを伝え続けて立っている。小学生の感想には、「松の木が泣きながら『戦争をしてはいけない。二度と繰り返すな』と呼びかけているように思った」「戦争の様子を語る松の木を残すことが大切です。松の木が平和の大切さを語っている気がした」と書かれていた。果たしてその燃料を使って飛行機は飛んだのか。記録はないそうだ。ウクライナ支援のために植えたヒマワリはすっかり実を付けた。平和について改めて考えた夏だった。